

科目区分	専門基礎分野	授業科目	医療倫理
講師名	飯田 博(8) 三浦 麗子(7)	開講年次	3 年次 第 2 学期
単位数(時間)	1 単位(15 時間)		
講義概要 メッセージ	近年の遺伝子学の発展と法的・倫理問題、脳死と臓器移植における自己決定権や人権の重要性について理解を深めましょう。		
目的:医療・看護における倫理に関する知識を修得し、生命及び人の尊厳について理解する。 目標: 1)医療における倫理的課題を理解する。 2)生命の尊厳と人権について理解する 。 3)看護職としての倫理的責任について理解する。			
回	講 義 内 容		
医師担当 15 時間のうち8時間			
1	1. 人権尊重について 1)倫理とは 2)人権とは 2. 看護に期待するもの 1)生命と倫理をめぐる諸問題 2)主な倫理綱領		
2	3. 医療における患者の権利 1)インフォームドコンセントとは		
3	4. 死の意味と概念・死の倫理(生命と死、死の定義、死の判定、脳死の概念) 1)現代医療における死 2)緩和ケア、ターミナルケア		
4	5. 脳死と臓器移植 6. 先端医学と倫理 遺伝子治療と看護		
看護職担当 15 時間のうち 6 時間＋試験1時間(医師+看護職)			
1	1. 看護をめぐる倫理的課題		
2	2. 倫理的意思決定		
3	3. 倫理的分析モデル 4. 事例検討		
4	終了試験 45 分		
講義方法	講義、グループワーク		
評価方法	筆記試験 授業態度		
テキスト	医療倫理学のABC, 医学書院 医学書院:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学(1) 看護学概論		
備考			

科目区分	専門基礎分野	授業科目	地域福祉
講師名	棕 明子	開講年次	2 年次 第 1 学期
単位数（時間）	1 単位（15 時間）		
授業概要 *講師からのメッセージ	地域包括ケアシステムの推進を背景に、社会福祉において大きな位置を占めるようになった地域福祉について、社会的動向をふまえながら具体的に実践的に学んでいただきたい。		
目的：域福祉について、理論・政策・実践のそれぞれの観点から学び、看護実践に活用できるようにする			
目標：1. 地域福祉の基本的な考え方、理論・重要な概念、発展の歴史について理解する。			
2. 地域福祉に関する主要な政策、地域福祉を推進していくための方法とその主体について理解する。			
3. 地域福祉を実践していく上で重要なテーマである子どもと災害という観点から理解する。			
回	講 義 内 容		
1	1. 地域福祉とは		
2	2. 地域福祉の理念と概念		
3	3. 地域福祉の発展		
4	4. 地域福祉の政策展開		
5 【グループワーク】	5. 地域福祉の推進方法 地域福祉を推進する人々：コミュニティワーカー、コミュニティソーシャルワーカー、ボランティアコーディネーター、地域住民とボランティア、民生委員、児童委員		
6 【グループワーク】	6. 地域福祉の推進主体 地域福祉を推進する団体：社会福祉協議会、自治会、町内会、社会福祉施設、ボランティア・NPO、当事者組織、セルフヘルプグループ、社会的企業、共同募金会、生活協同組合、農業協同組合		
7	7. 子どもと地域福祉 災害と地域福祉		
8	終了試験 45 分		
講義方法	講義・GW（5、6で該当者に来てもらい実際に話し合う等）		
評価方法	筆記試験 100 点満点		
テキスト	ミネルヴァ書房：よくわかる地域福祉 ＜参考図書＞ 医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔3〕社会保障・社会福祉		
備考	既習関連科目：地域と暮らし		

科目区分	専門基礎分野	授業科目	公衆衛生
講師名	中本 稔	開講年次	3 年次 第 1 学期
単位数（時間）	1 単位（15 時間）		
授業概要 * 講師からのメッセージ	集団の健康増進と疾病予防について、公衆衛生看護を専門とする保健師から実際の活動について学び、看護における患者教育や地域・在宅看護に活かしていきましょう。		
目的：社会・経済・生活環境との関わりから集団を対象とした健康の増進と疾患予防を捉え、国民の健康な生活を確保するために必要な基礎的能力を養う			
目標：1. 公衆衛生の概念とわが国の公衆衛生の歴史的な背景を理解する			
2. 健康、疾病、障害とそれを取り巻く環境の影響を理解する			
3. 集団の特徴を捉える疫学的方法を理解する			
4. 健康を維持増進するための対象に応じた、組織的な保健活動の実際を知る			
回	授 業 内 容		
1	1. 公衆衛生とは 公衆衛生学の概念 ヘルスプロモーション プライマリヘルスケア 健康レベルに応じた活動（ゼロ次予防・一次予防・二次予防・三次予防）		
2	2. 公衆衛生の歴史 時代とともにみる公衆衛生の歴史と地域保健法・健康日本21・健康増進法 他		
3	3. 集団の健康をとらえるための疫学的手法 疫学とは、因果関係、実際の活動		
4	4. 対象に応じた公衆衛生活動 ① 母子保健・成人保健・高齢者保健・精神保健		
5	5. 対象に応じた公衆衛生活動 ② 歯科保健、難病支援・障害支援、感染症対策、環境衛生、食品衛生		
6	6. 産業保健と学校保健		
7 (45 分)	7. 国際保健		
8	終了試験 45 分		
授業方法	講義		
評価方法	筆記試験 100 点満点		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔2〕公衆衛生		
備考			

科目区分	専門基礎分野	授業科目	社会福祉
講師名	池永 綾子	開講年次	3 年次 第 2 学期
単位数(時間)	2 単位(30 時間)		
授業概要 * 講師からのメッセージ	社会福祉の概要を理解するとともに、保健・医療・福祉各分野の専門職とのコンサルテーションの重要性を学びましょう		
目的:社会的な援護を要する人が自立した生活を送ることができるように支援する社会福祉について理解を深め、保健・医療・福祉の連携を意識しながら、看護職の立場から対象を支援する方法を学習する			
目標: 1)社会福祉の概念の変遷を理解する 2)医療・社会保障制度と福祉の関連について理解する 3)社会福祉における医療福祉の位置づけについて理解する 4)医療福祉の視点を理解し、医療・看護に活かすことができるようになる			
回	講 義 内 容		
I	社会福祉総論		
1	1. 社会福祉の歴史		
2	2. 社会保障制度と社会福祉の法制度および社会変化と社会保障・社会福祉の動向 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向		
3	3. 医療保障その1 1) 医療保障制度の沿革、構造と体系 2)健康保険と国民健康保険		
4	4. 医療保障その2 1) 高齢者医療制度保険 2)診療のしくみ		
5	5. 介護保障		
6	6. 所得保障		
7	7. 公的扶助		
II	社会福祉各論		
8	1. 社会福祉の分野とサービスその1 高齢者福祉		
9	2. 社会福祉の分野とサービスその2 障害者福祉		
10	3. 社会福祉の分野とサービスその3 児童家庭福祉		
11 【グループワーク】	4. 社会福祉実践と医療・看護その1 1) 社会福祉援助とは 2)個別援助技術(ケースワーク)		
12 【グループワーク】	5. 社会福祉実践と医療・看護その2 1) 集団援助技術(グループワーク) 2)間接援助技術と関連援助技術		
13	6. 社会福祉実践と医療・看護その3 1)社会福祉の援助の検討課題		
14	7. 社会福祉実践と医療・看護その4 1) 連携の重要性 2)社会福祉実践と医療と看護との連携		
15(45 分)	まとめと終了試験対策		
16	終了試験 45 分		
講義方法	講義・GW(11, 12 は演習形式)		
評価方法	筆記試験 100 点満点		
テキスト	医学書院:系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(3) 社会保障・社会福祉		
備考	既習関連科目:地域福祉、公衆衛生、地域と暮らし、地域で暮らす人々を支える仕組み、地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護論実習 I		

科目区分	専門基礎分野	授業科目	関係法規
講師名	山根 知己(9) 栗田 益希(2) 藤井 光輝(4)	開講年次	3年次 第1学期
単位数(時間)	1単位(15時間)		
目的：1. 医療の実践に関連して必要な法令について学ぶ 目標：1. 法の基礎知識並びに保健医療関係法規を理解する 2. 看護師として役割達成に必要な法規について理解する			
講義概要 メッセージ			
回	講 義 内 容		
1	1. 法の概念 1) 法律の概念 2) 衛生法 3) 厚生労働行政の仕組み		
2. 3	2. 看護法 1) 保健師助産師看護師法、保健師助産師看護師法施行令、保健師助産師看護師法施行規則 (1) 目的 (2) 定義 (3) 保健師助産師看護師法の構造と附属法令 (4) 免許 (5) 試験 (6) 学校・養成所 (7) 業務 (8) 研修 (9) 義務 (10) 医療過誤 (11) 罰則 (12) 沿革 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (1) 目的 (2) 定義 (3) 看護師等の人材確保の促進 (4) ナースセンターと離職届		
4	3. 医事法 1) 医療法 2) 医療関係資格法 (1) 医師法 (2) 歯科医師法 (3) 薬剤師法 (4) 医療関係資格法 3) 医療を支える法 (1) 医療・介護の提供体制に関する法 (2) 移植医療に関する法 (3) 地域振興における看護の役割に関する法 (4) 人の死に関する法 (5) 緊急時の看護・医療に関する法		
5	4. 保健衛生法 1) 共通保健法 (1) 地域保健法 (2) 健康増進法 2) 分野別保健法 (1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (2) 母子保健法 (3) 母子保護法 (4) 学校保健安全法 (5) 個別対策法 3) 感染症に関する法 4) 環境衛生法		
6	5. 社会保険法 1) 健康保険法 2) 国民健康保険法 3) 高齢者の医療の確保に関する法律 4) 介護保険法 5) 国民年金法 6) 厚生年金保険法		
7	6. 労働法と社会基盤整備 1) 労働基準法 2) 労働安全衛生法 3) 労働者災害補償保険法 4) 雇用保険法 5) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 6) 適正な労働の確保に関する法		
8	終了試験 45分		
講義方法	講義		
評価方法	筆記試験 100点満点		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 社会保障制度と生活者の健康 [4] 看護関係法令		
備考	既習関連科目：薬理学(総論)、成人看護学概論、社会福祉、母性看護学概論		